

平成29年度

事業報告書

(自 平成29年4月1日～ 至 平成30年3月31日)

社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会

平成29年度

社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会事業報告書

《 概 要 》

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の急速な進展、地域住民相互のつながりの希薄化、地域社会や家族形態の変容、さらには個人の価値観や生活様式の多様化等を背景に、生活課題や福祉課題が複雑化かつ複合化してきている現状がある。

国においても、こうした課題に対応するため、地域包括ケアシステムの確立や新たな介護予防・日常生活支援総合事業の実施、生活困窮者支援の充実、さらには我が事丸ごと地域共生社会の実現に向けた取り組みなど、新たな課題に対するための施策や取り組みづくりが進められている。

加えて、社会福祉法の改正により、社会福祉法人による地域における広域的な取り組みが義務化され、地域福祉の推進が社会福祉協議会のみの役割ではなくなるなど、本会を取り巻く環境も大きく変化してきている。

こうした中、本会においても、介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、関係機関と連携しながら、きめ細かな介護予防事業や情報提供を行い、市民の健康維持・増進、自立支援にむけたサービス提供に取り組んでいる。

特に、増加する認知症の方やご家族を地域で支え、安心した生活を送ることができるよう、地域包括支援センターでは「カフェ・ロバ耳」を毎月第4土曜日に開催するなど、毎回、多くの市民やボランティアの方々の参加とご協力をいただきながら推進している。

昨年から今年にかけての厳冬期は、非常に積雪が多く、特に高齢者世帯などで支援を要する人からの除雪ボランティアの要望が多かった。個人登録ボランティアの方には1日2~3件の除雪を行っていただき、また、小学生や青年会議所の方々からもボランティアとしてご協力いただくことができ、本人たちをはじめ関係者も、概ね、厳しい冬を安心して過ごすことができたと思われる。

事務局としては、連日のように続く生活困窮者からの相談に、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、関係機関と連携しながら、就労訓練の場や就労を創出することを目指し、課題の解決に向けた支援を行ってきた。特に、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業を含めた各種相談事業、福祉行政をはじめとした関係機関、地域包括支援センター等とのネットワークを基盤として、総合相談・生活支援の取り組みの強化に努めてきた。

平成29年度、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉コミュニティをつくることを目指し、行政と共に「南陽市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することもでき、これからも、すべての住民の方々が安心していきいきと生活できるよう、地域の様々な活動を活性化し、ひとり一人が自立した生活ができる地域社会の実現に向けて、より一層その推進に努めていきたい。

【1】法人・組織管理

1. 理事会の開催

《第152回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局
・期日 平成29年6月13日（火）
・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
・議事 (1) 平成28年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の認定について
(2) 平成28年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の認定について
(3) 評議員候補者の推薦について
(4) 平成28年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について

《第153回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

・期日 平成29年6月28日（水）
・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
・議事 (1) 南陽市社会福祉協議会会长の選定について
(2) 南陽市社会福祉協議会副会长の選定について
(3) 南陽市社会福祉協議会常務理事の選定について

《第154回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

・期日 平成30年3月28日（水）
・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
・議事 (1) 平成29年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(案)について
(2) 平成29年度福祉活動功労者の表彰について
(3) 定款の変更について
(4) 平成30年度南陽市社会福祉協議会事業計画（案）について
(5) 平成30年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支予算（案）について
(6) 平成29年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計資金収支補正予算（案）
について
(7) 平成30年度山形県共同募金会南陽市共同募金委員会一般会計資金収支予算
（案）について

2. 評議員会の開催

《第116回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局
・期日 平成29年6月28日（水）
・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）
・議事 (1) 平成28年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の承認について
(2) 平成28年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の承認について
(3) 理事の改選について
(4) 監事の改選について
(5) 平成28年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について

《第117回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局

・期日 平成30年3月28日（水）
・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

平成29年度

社会福祉法人 南陽市社会福祉協議会事業報告書

『概要』

今日の社会福祉を取り巻く環境は、少子高齢化や核家族化の急速な進展、地域住民相互のつながりの希薄化、地域社会や家族形態の変容、さらには個人の価値観や生活様式の多様化等を背景に、生活課題や福祉課題が複雑化かつ複合化してきている現状がある。

国においても、こうした課題に対応するため、地域包括ケアシステムの確立や新たな介護予防・日常生活支援総合事業の実施、生活困窮者支援の充実、さらには我が事丸ごと地域共生社会の実現に向けた取り組みなど、新たな課題に対するための施策や取り組みづくりが進められている。

加えて、社会福祉法の改正により、社会福祉法人による地域における広域的な取り組みが義務化され、地域福祉の推進が社会福祉協議会のみの役割ではなくなるなど、本会を取り巻く環境も大きく変化してきている。

こうした中、本会においても、介護予防・日常生活支援総合事業に取り組み、関係機関と連携しながら、きめ細かな介護予防事業や情報提供を行い、市民の健康維持・増進、自立支援にむけたサービス提供に取り組んでいる。

特に、増加する認知症の方やご家族を地域で支え、安心した生活を送ることができるよう、地域包括支援センターでは「カフェ・ロバ耳」を毎月第4土曜日に開催するなど、毎回、多くの市民やボランティアの方々の参加とご協力をいただきながら推進している。

昨年から今年にかけての厳冬期は、非常に積雪が多く、特に高齢者世帯などで支援を要する人からの除雪ボランティアの要望が多かった。個人登録ボランティアの方には1日2~3件の除雪を行っていただき、また、小学生や青年会議所の方々からもボランティアとしてご協力いただくことができ、本人たちをはじめ関係者も、概ね、厳しい冬を安心して過ごすことができたと思われる。

事務局としては、連日のように続く生活困窮者からの相談に、どのような支援が必要かを相談者と一緒に考え、関係機関と連携しながら、就労訓練の場や就労を創出することを目指し、課題の解決に向けた支援を行ってきた。特に、生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業を含めた各種相談事業、福祉行政をはじめとした関係機関、地域包括支援センター等とのネットワークを基盤として、総合相談・生活支援の取り組みの強化に努めてきた。

平成29年度、誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉コミュニティをつくることを目指し、行政と共に「南陽市地域福祉計画・地域福祉活動計画」を策定することもでき、これからも、すべての住民の方々が安心していきいきと生活できるよう、地域の様々な活動を活性化し、ひとり一人が自立した生活を送ることができる地域社会の実現に向けて、より一層その推進に努めていきたい。

【1】法人・組織管理

1. 理事会の開催

《第152回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

- ・期日 平成29年6月13日（火）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事
 - (1) 平成28年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の認定について
 - (2) 平成28年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の認定について
 - (3) 評議員候補者の推薦について
 - (4) 平成28年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について

《第153回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

- ・期日 平成29年6月28日（水）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事
 - (1) 南陽市社会福祉協議会会长の選定について
 - (2) 南陽市社会福祉協議会副会长の選定について
 - (3) 南陽市社会福祉協議会常務理事の選定について

《第154回理事会》 出席者 会長・副会長・常務理事・理事・監事・事務局

- ・期日 平成30年3月28日（水）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
- ・議事
 - (1) 平成29年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(案)について
 - (2) 平成29年度福祉活動功労者の表彰について
 - (3) 定款の変更について
 - (4) 平成30年度南陽市社会福祉協議会事業計画（案）について
 - (5) 平成30年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支予算（案）について
 - (6) 平成29年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計資金収支補正予算（案）について
 - (7) 平成30年度山形県共同募金会南陽市共同募金委員会一般会計資金収支予算（案）について

2. 評議員会の開催

《第116回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成29年6月28日（水）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）
- ・議事
 - (1) 平成28年度南陽市社会福祉協議会事業報告書の承認について
 - (2) 平成28年度南陽市社会福祉協議会一般会計決算書の承認について
 - (3) 理事の改選について
 - (4) 監事の改選について

（5）平成28年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計決算書の承認について

《第117回評議員会》 出席者 会長・副会長・常務理事・評議員・理事・監事・事務局

- ・期日 平成30年3月28日（水）
- ・会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

- ・議事 (1) 平成29年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支補正予算(案)について
(2) 定款の変更について
(2) 平成30年度南陽市社会福祉協議会事業計画(案)について
(3) 平成30年度南陽市社会福祉協議会一般会計資金収支予算(案)について
(4) 平成29年度山形県共同募金会南陽市支会一般会計資金収支補正予算(案)
について
(5) 平成30年度山形県共同募金会南陽市共同募金委員会一般会計資金収支予算
(案)について

3. 監事会の開催

《監査実施》 出席者 監事・会長・常務理事・事務局

- ・期日 平成29年6月7日(水)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(創作研修室)
- ・内容 (1) 平成28年度南陽市社会福祉協議会事業全般について
(2) 平成28年度南陽市社会福祉協議会諸決算について

《監査実施》 出席者 監事・会長・常務理事・事務局

- ・期日 平成29年11月10日(金)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(創作研修室)
- ・内容 (1) 平成29年度南陽市社会福祉協議会上半期事業について
(2) 平成29年度南陽市社会福祉協議会上半期一般会計について

4. 評議員選任・解任委員会の開催

《監査実施》 出席者 委員・会長・事務局

- ・期日 平成29年6月13日(火)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(創作研修室)
- ・議事 (1) 評議員の辞任による後任の選任について

【2】事業推進資金の確保と福祉基金の造成

市民のみなさまからのあたたかいご理解を得て、各家庭より社協一般会費(一口800円)、更なる福祉活動の充実を図るため特別賛助会員の方々より会費納入にご協力いただいた。

また、市民団体よりチャリティー事業収益金の一部を寄付金として頂戴し、福祉基金に積み立てさせていただいた。

【3】地域福祉事業・啓発事業の推進

1. 支部社協との連携及び情報交換

《支部長及び担当者会議》

- ・期日 平成29年11月24日(金)
- ・会場 南陽市健康長寿センター(健康教育室)
- ・議事 (1) 平成29年度敬老事業(敬老会・つどい等)の情報提供

(2) 小地域ネットワーク事業について

(3) 給食サービス事業について

《敬老会事業への協力》

市内9地区において各地区実行委員会を中心に、敬老を祝う催しを実施した。地域の中で高齢者を支え合う小地域ネットワークの一端を担った事業である。

◇開催期日及び招待者数

| 地区 | 開催期日 | 式典会場 | 招待者(人) | 出席者(人) | 主な催し物 |
|---------|-------|-----------|--------|--------|----------------------|
| 梨郷 | 9月3日 | 梨郷小学校体育館 | 336 | 80 | 遊戯、龍樹太鼓、舞踊、民謡、フラダンス |
| 宮内 | 9月8日 | 蔵 楽 | 1,386 | 350 | 遊戯、歌謡ショー |
| 中川 | 9月10日 | 中川公民館 | 300 | 80 | 歌、遊戯、カラオケ |
| 金山 | 9月10日 | ハイジアパーク南陽 | 122 | 36 | 踊り、カラオケ |
| 沖郷 | 9月17日 | 沖郷中学校武道場 | 1,066 | 150 | 吹奏楽、コーラス、落語、民謡、お楽しみ会 |
| 小滝 | 9月18日 | 小滝多目的集会施設 | 50 | 20 | 遊戯、民話 |
| 荻・下荻・太郎 | 9月24日 | 荻小学校体育館 | 119 | 54 | 遊戯、民話、踊り |
| 漆山 | 9月25日 | 語り部の館 | 528 | 85 | 遊戯、歌、群読、エール、舞踊 |
| 赤湯 | 9月28日 | シェルターなんよう | 1,808 | 233 | 歌、遊戯、歌謡ショー |
| 合計 | — | — | 5,715 | 1,088 | — |

《ふれあい給食サービス事業》

地域の方(支部社協・ボランティア)がその地域にお住まいの高齢者に対して、ふれあいと安否確認及び激励を目的に開催した。心あたたまるメッセージカードを添えていただき、大変元気づけられ喜ばれた。(市内8地区 年1~2回実施)

◇実施期日及び配食数 (総配食数 943食)

| 地区名 | 宮内 | 梨郷 | 中川 | 赤湯 | 金山 | 吉野 | 漆山 | 沖郷 |
|------------|-------|--------|-----------------|----------------|-------|---------------|---------------|----------------|
| 期日 | 12月5日 | 11月26日 | 11月15日 1月17日 | 11月14日 2月1日 | 12月3日 | 12月1日 2月1日 | 12月1日 2月6日 | 12月22日 2月2日 |
| 配食数 | 117 | 61 | 145 | 278 | 27 | 36 | 140 | 139 |
| 対象者 (延) | 男 | 38 | 26 | 54 | 50 | 13 | 41 | 44 |
| | 女 | 79 | 35 | 91 | 228 | 14 | 23 | 95 |

2. 地域福祉権利擁護事業 (福祉サービス利用援助事業)

高齢者世帯の増加、障がい者の地域移行が進む中、地域生活を支える支援事業として、相談・契約等を行ってきた。支援員6名体制で、高齢の方や障がいのある方に、福祉サービスの情報提供や利用手続き・日常的な金銭の出し入れのお手伝いを行い、重要な書類等を紛失しないようにお預かりして、安心して暮らせるように支援した。

支援員は相談技術の向上や障がい・認知症等を理解する為、山形県社会福祉協議会主催の研修会や、置賜管内で開催された研修会に参加をして、情報共有及び研鑽を積んだ。

| 相談件数 | 契約締結件数 | 解約件数 | 実利用者数 | 支援活動実績 |
|------|--------|------|-------|--------|
| 575件 | 11件 | 9件 | 40人 | 612件 |

3. ふれあい総合相談所の設置・運営

総合相談事業をとおして、個別ニーズに適切に対応するため、相談員間及び関係機関との連携を図りながら取り組んだ。相談所の広報は、市報及び社協だより「あい」への掲載、社協ホームページによる周知活動を行った。

山形県地域包括ケア総合推進センターの支援を得て、無料法律相談を7月13日及び12月20日に開催した。

各種相談研修会に参加し、相談技術の向上や情報共有に努めた。

《相談体制》

- ・毎月第2・第4金曜日 午後1時30分～4時 南陽市健康長寿センター（創作研修室）
相談員7名（民生委員・児童委員、学識経験者）
- ・毎週月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 南陽市健康長寿センター
ボランティアに関する相談（ボランティアコーディネーター）

4. 宅配給食サービス及び高齢者見守り活動

一人暮らし高齢者等の見守りを兼ねた給食サービス事業は、20年継続しておこなっている。高齢者に必要なカロリーと栄養を考慮した調理ボランティアによる手作り弁当を、配達ボランティアの方々がやさしい声掛けとともに届けてくださいました。（総配食数 1,523食）

5. 事業周知及び広報活動

社会福祉協議会の事業内容等について、広くご理解いただけるよう社協だより「あい」を発行し、全戸配布を行った。（7月、12月、3月）

また、ホームページを活用し、広く迅速な情報開示をおこなった。

6. 小地域福祉ネットワーク事業

少子高齢化、人口減少、貧困層の増大、単身世帯の増加により、孤立化が進んでおり、住民による地域での支え合い活動や見守り活動の必要性が見直されてきている。

本会では、関係者による研修会の開催及び活動を行う地区への助成金交付、定例会等にて相談に応じる等、関係者への啓発を図ってきた。

【活動団体への助成金交付】

《地域支え合い活動》

高齢者及び身体障がい者世帯に対し、見守り活動等を実施し、高齢者等の地域における自立した在宅生活の継続を図った。

（宮内 1カ所、沖郷 1カ所、漆山 10カ所、中川 1カ所 合計13カ所）

《助け合い除雪活動》

高齢者及び身体障がい者世帯等、除雪困難な世帯の除雪を行い、冬季間の生活を安心・安全に暮らすことができるよう支援した。

（沖郷 1カ所、中川 1カ所、赤湯 1カ所 合計3カ所）

7. 住民参加型非営利活動推進事業

《災害救援活動》

災害発生等の非常時に備えた炊き出し訓練を、南陽市ボランティア友の会を中心に実施し

た。市販のポリエチレン袋を使用しての調理法を試み事前学習会をおこない、市総合防災訓練にて「白米」「野菜スープ」を各300食炊き上げた。

《ボランティアセンター事業》

ボランティア活動をしたい人、活動に参加したい人、ボランティアから支援を受けたい人の調整を図り、市民参加の基盤を広げてきた。

～施設・在宅ボランティアコーディネート～

- ・福祉施設を訪問し、歌や踊りの披露や入所者の方々と交流する機会等の調整。
- ・施設の野外レクリエーション時に参加者の車椅子介助をしながら交流をする機会の調整。
- ・高齢者及び身体障がい者世帯等への冬季除雪活動の調整設定。(延べ194回)

8. 福祉教育推進事業

《福祉教育協力指定校事業》

市内全小学校、中学校、高等学校を福祉教育協力指定校とし、子どもたちの豊かな心を育む福祉教育実践を展開していただいた。心あたたまる交流活動がとても喜ばれている。

《ボランティアの育成と活動拠点の開拓》

～ぼらんていあひろば びよっこ～

少子化や核家族化が進む中、子どもたちが多様な人々と共に地域社会の中で暮らしていくことの大切さを知り、他者との関わりの中で、より良い生き方を考えるきっかけとして、ボランティア活動を体験し、学んでいく必要性が高まっている。子どもたちが様々な人との交流をとおし、自分や地域を見つめ、自分たちに何ができるかを考え活動できるよう、福祉教育サポーターの支援のもとに行なった。

～中・高校生ボランティアサークル「にじ」～

「ぼらんていあひろば びよっこ」の交流会や中学生ボランティアセミナーの運営スタッフとして活動した。

【4】生活困窮者等への自立支援、緊急支援事業

1. 生活困窮者自立相談支援事業（南陽市受託事業）

平成27年度から「南陽市生活自立支援センター」を設置し、生活困窮者自立支援制度による自立相談支援事業を実施した。

経済的な課題や生活の困りごとや悩みを総合的に受け付け、相談者が抱える課題を把握するとともに、その置かれている状況や本人の意思を十分に確認することを通じて個々人の状況に合った支援プラン等の作成を行なった。また、必要な支援を総合調整し、その効果を評価・確認しながら、相談者の自立に向けた包括的・継続的な支援を行なった。

◇利用相談件数等

| 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 延べ相談件数 | 19 | 53 | 59 | 51 | 50 | 43 | 49 | 50 | 33 | 46 | 55 | 63 | 571 |
| 新規相談件数 | 3 | 9 | 0 | 10 | 4 | 7 | 5 | 5 | 1 | 10 | 5 | 7 | 66 |
| 新規相談申込件数 | 3 | 7 | 0 | 9 | 2 | 6 | 5 | 5 | 1 | 9 | 4 | 7 | 58 |
| プラン作成件数 | 0 | 0 | 6 | 4 | 0 | 0 | 2 | 2 | 0 | 2 | 5 | 3 | 24 |
| 就労者数 | 0 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 7 |

◇新規相談者の相談内容（複数回答）

| 内 容 | 件数 |
|--------------------|-----|
| 1. 病気や健康・障がいのこと | 27 |
| 2. 住まいについて | 7 |
| 3. 収入・生活費のこと | 55 |
| 4. 家賃やローンの支払いのこと | 21 |
| 5. 税金や公共料金の支払いについて | 27 |
| 6. 債務について | 8 |
| 7. 仕事探し、就職について | 15 |
| 8. 仕事上の不安やトラブル | 2 |
| 9. 地域との関係について | 2 |
| 10. 家族との関係について | 9 |
| 11. 子育てのこと | 4 |
| 12. 介護のこと | 7 |
| 13. ひきこもり・不登校 | 0 |
| 14. DV・虐待 | 0 |
| 15. 食べるものがない | 10 |
| 16. その他 | 1 |
| 件数合計 | 195 |

2. 生活福祉資金の申請（山形県社会福祉協議会へ）

昨年度と比較して、貸付件数は9件減少、毎年貸付金額は減少している。金融機関からの借入はもちろん、他の融資制度の活用ができない世帯に対し、民生委員・児童委員の協力のもと相談・支援をおこなっている。

| 資 金 の 種 類 | 件数 | 貸付金額 |
|-----------|---------|-------------------|
| 総合支援資金 | 生活支援費 | 0 円 |
| | 一時生活再建費 | 0 円 |
| 福祉資金 | 福祉費 | 2 3 3, 0 0 0 円 |
| | 緊急小口資金 | 2 0 0, 0 0 0 円 |
| 教育支援資金 | 教育支援費 | 2, 9 2 8, 0 0 0 円 |
| | 就学支援費 | 1, 5 1 7, 0 0 0 円 |
| 合 計 | 1 1 | 4, 8 7 8, 0 0 0 円 |

3. たすけあい資金の貸付による支援事業

緊急を要する低所得世帯への援助活動として、無利子で生活費等の貸し付けを行った。新規貸付は、4件270,000円と昨年度より1件増加している。（1件に対する貸付限度額は、80,000円）。民生委員・児童委員の協力を得て滞納者への償還指導をおこない、順調に償還いただけるようになった。

4. 善意銀行事業による緊急支援

市民の方から善意の寄付金や物品を預託いただき、生活に困窮している方々への緊急支援、衣類やタオル、洗剤、食品等の寄付物品を払い出し、善意の交流をおこない有意義に活用した。

《内訳》

| 預託種別 | 件数 | 金額 | 払出種別 | 件数 | 金額 |
|------|----|----------|------|----|------------|
| 金品 | 16 | 106,781円 | 支援金 | 2 | 13,000円 |
| 物品 | 23 | | 見舞金 | 1 | 10,000円 |
| | | | 緊急貸付 | 47 | 1,494,632円 |
| | | | 物品 | 23 | |
| 預託合計 | 39 | 106,781円 | 払出合計 | 73 | 1,517,632円 |

【5】共同募金の推進

1. 赤い羽根共同募金運動

市民の皆様から戸別、職域、そして街頭での募金活動（市内5店舗）を実施し、あたたかい善意の募金が寄せられた。頂戴いたしました貴重な募金は、山形県共同募金会に送られ、次年度配分となります。

前年度の募金より本年度配分された金額は、

1,667,692円で身近な地域福祉活動に役立たせていただいた。

| 区分 | 募金額 |
|--------|------------|
| 戸別募金 | 3,588,230円 |
| 職域募金 | 118,697円 |
| 街頭募金 | 72,568円 |
| その他の募金 | 12,913円 |
| 合計 | 3,792,408円 |

2. 峰末たすけあい運動

共同募金の一環として、地域住民やボランティア、民生委員・児童委員、社会福祉施設・団体の協力のもと、新たな年を迎える時期に支援を必要とする人たちが、地域で安心して暮らすことができるよう運動を推進した。

《峰末たすけあい運動配分委員会の開催》

期日 平成29年12月13日（水）

会場 南陽市健康長寿センター（健康教育室）

内容 ・配分対象者及び配分額の決定について・配分金伝達の日程について

【募金額】2,782,867円

(内訳：戸別募金 2,428,510円、職域募金 225,844円、篤志募金他 128,508円、利子 5円)

| 配分対象者 | 人数 | 配分金 |
|------------|-------|-----------------|
| 低所得者世帯 | 幼児 | 18人 54,000円 |
| | 小学生 | 61人 244,000円 |
| | 中学生 | 56人 280,000円 |
| | 高校生 | 43人 301,000円 |
| | 生計中心者 | 217人 1,736,000円 |
| 特別要援護児童・生徒 | 12人 | 60,000円 |
| 運動推進経費 | — | 44,782円 |
| 次年度繰越金 | — | 63,085円 |
| 計 | 407人 | 2,782,867円 |

【6】指定管理業務

1. 南陽市健康長寿センター・デイサービスセンター管理経営事業

花壇への植栽や危険な樹木の伐採等をおこない、環境美化と安全面の配慮に努めた。

《南陽市健康長寿センター利用状況》

| | 健 康 教 育 室 | 診 察 室 | 栄 養 指 導 室 | 生 活 訓 練 室 | 創 作 研 修 室 | こども の 広 場 | 交 流 ス ペ ジ ス | 月 别 人 数 合 計 | 月 别 利 用 回 数 |
|-----------------------|--------------|-------|--------------|--------------|-----------------------|--------------|----------------|----------------|----------------|
| 4月 | 310 | 53 | 77 | 122 | 79 | 92 | 44 | 777 | 60 |
| 5月 | 500 | 24 | 38 | 69 | 178 | 78 | 75 | 962 | 68 |
| 6月 | 686 | 57 | 107 | 123 | 38 | 158 | 141 | 1,310 | 97 |
| 7月 | 386 | 38 | 107 | 48 | 116 | 193 | 39 | 927 | 74 |
| 8月 | 221 | 48 | 34 | 92 | 107 | 136 | 56 | 694 | 65 |
| 9月 | 470 | 31 | 98 | 101 | 314 | 172 | 89 | 1,275 | 85 |
| 10月 | 863 | 8 | 189 | 225 | 433 | 117 | 85 | 1,920 | 94 |
| 11月 | 368 | 44 | 254 | 69 | 118 | 191 | 67 | 1,111 | 88 |
| 12月 | 454 | 38 | 231 | 146 | 142 | 122 | 109 | 1,242 | 81 |
| 1月 | 340 | 52 | 123 | 20 | 119 | 102 | 79 | 835 | 69 |
| 2月 | 334 | 61 | 249 | 114 | 85 | 76 | 60 | 979 | 80 |
| 3月 | 320 | 0 | 111 | 86 | 110 | 128 | 88 | 843 | 73 |
| 人数合計 | 5,252 | 454 | 1,618 | 1,215 | 1,839 | 1,565 | 932 | | |
| 利用回数 | 210 | 20 | 99 | 92 | 166 | 220 | 127 | 12,875 | 934 |
| 開設時(平成6年4月)からの会議室利用者数 | | | | | 開設時(平成6年4月)からの会議室利用回数 | | | | |
| 430,200人 | | | | | 18,022回 | | | | |

2. 老人いこいの家管理経営事業

施設の老朽化に伴い、設備の修繕箇所が多くなっているが、安全に利用いただけるよう、

また、日々の清掃を丁寧に行い、気持ちよく利用いただけるよう努めている。

《月次・曜日別利用状況》

| 月 | 利用者数 | 開荘日数 | 一日平均 利用者数 | 曜 日 别 利 用 者 数 (人) | | | | | |
|-----|-------|------|--------------|-------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | | | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
| 4月 | 431 | 26 | 16.6 | 88 | 70 | 68 | 67 | 80 | 58 |
| 5月 | 331 | 25 | 13.2 | 87 | 64 | 38 | 74 | 31 | 37 |
| 6月 | 324 | 26 | 12.5 | 57 | 68 | 50 | 74 | 36 | 39 |
| 7月 | 353 | 26 | 13.6 | 67 | 65 | 69 | 69 | 43 | 40 |
| 8月 | 269 | 23 | 11.7 | 53 | 55 | 46 | 56 | 34 | 25 |
| 9月 | 366 | 26 | 14.1 | 79 | 61 | 52 | 96 | 35 | 43 |
| 10月 | 417 | 26 | 16.0 | 103 | 93 | 94 | 56 | 40 | 31 |
| 11月 | 378 | 26 | 14.5 | 54 | 96 | 54 | 84 | 56 | 34 |
| 12月 | 356 | 24 | 14.8 | 75 | 68 | 54 | 74 | 55 | 30 |
| 1月 | 272 | 20 | 13.6 | 52 | 64 | 33 | 41 | 55 | 27 |
| 2月 | 344 | 23 | 15.0 | 66 | 58 | 59 | 54 | 55 | 52 |
| 3月 | 409 | 27 | 15.1 | 68 | 73 | 59 | 58 | 99 | 52 |
| 計 | 4,250 | 298 | 14.3 | 849 | 835 | 676 | 803 | 619 | 468 |

3. 戦没者追悼式事業

| 地区 | 戦没者柱数 | 一柱助成金(円) | 地区助成金(円) | 慰靈祭開催月日 | 慰靈祭会場 |
|-----|-------|----------|----------|---------|---------|
| 漆山 | 140 | 500 | 70,000 | 5月10日 | 珍藏寺 |
| 宮内 | 233 | 500 | 116,500 | 6月10日 | 蓬萊院 |
| 中川 | 100 | 500 | 50,000 | 6月23日 | 中川地区忠魂碑 |
| 梨郷 | 120 | 500 | 60,000 | 7月10日 | 梨郷神社 |
| 金山 | 46 | 500 | 23,000 | 7月15日 | 東禪院 |
| 沖郷 | 205 | 500 | 102,500 | 9月4日 | 高福寺 |
| 赤湯 | 228 | 500 | 114,000 | 9月16日 | 鳥帽子山八幡宮 |
| 吉野 | 91 | 500 | 45,500 | 10月23日 | 吉野公民館 |
| 事務費 | — | — | 7,800 | — | — |
| 合計 | 1,163 | — | 589,300 | — | — |

4. 福祉バス管理運行事業

市内の福祉関係団体による各種研修会、福祉大会の参加、ボランティア活動等のために利用された。安全な運行に留意しながら事業を実施した。

| 月別 | 運行日数 (日) | 運行回数(回) | | | 乗車人数 (人) | 走行距離数 (km) |
|-----|-------------|---------|----|----|-------------|---------------|
| | | 市内 | 県内 | 県外 | | |
| 4月 | 12 | 1 | 6 | 5 | 221 | 1,815 |
| 5月 | 9 | 1 | 6 | 2 | 184 | 1,808 |
| 6月 | 14 | 3 | 7 | 4 | 293 | 1,702 |
| 7月 | 12 | 3 | 6 | 4 | 279 | 1,917 |
| 8月 | 15 | 7 | 7 | 1 | 412 | 1,063 |
| 9月 | 15 | 8 | 3 | 4 | 400 | 1,615 |
| 10月 | 17 | 5 | 7 | 6 | 355 | 3,253 |
| 11月 | 12 | 3 | 4 | 5 | 222 | 1,761 |
| 12月 | 1 | 0 | 2 | 0 | 37 | 200 |
| 1月 | 1 | 1 | 0 | 0 | 10 | 26 |
| 2月 | 2 | 2 | 0 | 0 | 37 | 102 |
| 3月 | 15 | 5 | 9 | 1 | 372 | 861 |
| 合計 | 125 | 39 | 57 | 32 | 2,822 | 16,123 |

5. 地域介護予防活動支援事業

《はつらつくらぶ事業》

介護保険対象外の元気な高齢者を対象に、居宅への閉じこもり、寝たきりや認知症の予防を目的として、老人いこいの家・健康長寿センター・防災センター・文化センター等で、健康維持や各種趣味活動を開催した。

| 事業回数 | 総利用者数 | 男 | 女 |
|------|--------|------|--------|
| 236回 | 4,983人 | 214人 | 4,769人 |

《高齢者地域サロン》

高齢者が住みなれた地域において自立した生活を継続するために、介護予防の視点からその心身機能の維持向上の機会が必要である。そのために、交流の場の充実を図ることで、要介護状態等になることを予防できることから、自主的に組織化を図ろうとする地域活動の支援を行った。(助成対象サロン92団体)

《研修会》

高齢者地域サロンの代表や支援者に参加いただき、研修会を開催した。

期 日 平成30年3月6日(火)

会 場 えくぼプラザ 大会議室

内 容 「みんなで語ろう サロンのあれこれ」

サロンの活動内容や魅力、工夫していることや困っていることをグループごとに意見交換を行った。

参加者 138人

6. 避難者生活相談支援事業（県社協受託事業）

東日本大震災により市内に避難している世帯を訪問し、生活上の困りごとや不安を感じていること等を把握し、必要な福祉サービス等につなぐとともに、行政・地域住民や民生委員・児童委員、ボランティア、NPO等と協力しながら避難者の生活支援及び相談に応じた。

《活動内容》

- ・訪問活動(通常1ヶ月に1回程度)
- ・総合防災課、社会福祉協議会共催「がんばろう東北」憩いと交流のひろば
(第1月曜日 午後1時30分～3時)
山形県復興支援員、山形県駐在福島県職員、支援者も参加
- ・総合防災課、保健師、福祉課、各関係機関と隨時情報共有
- ・山形県社会福祉協議会調整会議・及び支援者研修会に出席(山形県社協)
- ・育児サークルランド主催研修交流会に出席(郡山市)
- ・やまがた避難者支援協働ネットワーク県(全体)意見交換会出席(山形県庁)
- ・復興ボランティア支援センターやまがた「支援者のつどい」出席(山形市、南陽市)
- ・全戸訪問活動に関する説明会出席(置賜総合支庁)
- ・つや姫全戸訪問
- ・「心のケア」三県合同研修会及び情報交換会(郡山市)
- ・復興祈念事業参加(米沢市伝国の杜)

《イベント内容》

- ・「AMカフェ」でカラフルコースター作り
- ・陶芸教室 & ランチ会
- ・珈琲教室
- ・Xmas リース作り
- ・ルーシーダットン教室

7. ファミリー・サポート・センター事業

子育てのお手伝いをしたい人と、子育ての手伝いをしてほしい人が会員になり、子育てを地

域で相互援助し会員同士で支え合う組織です。援助活動は保育施設等への送迎、保護者の外出の際に子どもを預かる、保護者の病気や冠婚葬祭等急用事に子どもを一時的に預かる等です。

《業務内容》

- ・会員の募集・登録等の組織業務
- ・相互援助活動の調整
- ・活動に必要な知識を提供する講習会、会員同士の交流・情報交換会の開催
- ・子育て関連施設、行政機関との連絡調整
- ・イベント等開催時の一時的・臨時託児



《援助活動数》

| 内 容 \ 月 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 合計 |
|----------------------------|-----------------|---|---|----|----|---|----|----|----|---|---|----|-----|
| 保育・学童施設等までの送迎のみ | 5 | | | 9 | 16 | | 1 | | 10 | 4 | 2 | 23 | 70 |
| 保育・学童施設終了後の預かり (送迎含む保育) | | | | 4 | 3 | | 1 | | 4 | 1 | | | 13 |
| 保育・学童施設が休みの為預かり | 1 | | | | 1 | | | | | | | | 2 |
| 子どもの学校行事等の際に きょうだいの預かり | | | | | | | 2 | 2 | 2 | | 4 | | 10 |
| 習い事の送迎 | | | | | 7 | | 1 | | | | 6 | | 14 |
| 保護者の外出等の預かり | | 1 | 2 | 1 | | 2 | 2 | 2 | | | | | 10 |
| 保護者の病気、その他急用時の預 かり | | 3 | | | | | | | | | | | 3 |
| 保護者の短時間・臨時の就労時に 子どもの預かり | 3 | 2 | | 2 | | | | | 2 | | 1 | 1 | 11 |
| 保護者のリフレッシュのため | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 保護者が家事をする ため | 2 | | | | | | | | | 3 | 5 | |
| | 保護者が成人式出席 | | 1 | | | | | | | | | | 1 |
| | 保護者が役員会 | | | | | | | 2 | | | | | 2 |
| 合 計 | 14 | 4 | 2 | 16 | 27 | 2 | 7 | 6 | 18 | 5 | 7 | 33 | 141 |

《イベント等開催時の一時的・臨時託児件数》

| 開催日時 | イベント名 | イベント会場 | 託児数 |
|---|---|---|-------|
| 4/22・5/8・5/28・6/12 7/6・7/29・8/21・9/14 10/12・11/6・11/15 11/25・12/2・12/11 1/15・2/26 | 生活クラブ (南陽地区運営委員会、地区会 ブロック会、講習会など) アダージョコンサート | 健康長寿センター ワトワセンター えくぼプラザ シェルターなんようホール | 33 |
| 5/3 | 南陽市成人式 | シェルターなんようホール | 1 |
| 11/26 | 南陽市50周年事業 | シェルターなんようホール | 3 |
| 6/22・11/30・3/9 | ※南陽市事業(ごっくんくらぶ・ ママとベビーの体操)など | 健康長寿センター | 25~30 |
| 合 計 | 21回 | — | 62~67 |

※南陽市事業の託児については複数の子ども(10数名)を複数の保育者で担当しています。

8. 地域包括支援センター業務

平成29年度に南陽市役所福祉課から南陽市健康長寿センターへ事務所を移転した。社会福祉士、経験のある看護師、主任介護支援専門員がお互いに連携をとりながらチームとして高齢者の暮らしを総合的にサポートし「介護や健康について」「権利擁護や財産について」「地域の暮らしについて」さまざまな相談を受け問題解決に向けて迅速に対応した。また、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めるとともに、認知症施策の充実や啓発に力入れることで、高齢者自らが日頃から健康の保持・増進や介護予防に努め、住み慣れた地域で生涯現役を目指して活動できる社会参加と自立を促す機会の提供を進めた。

《地域包括支援センターの主な業務内容》

(1) 総合相談支援業務

- 担当圏域（赤湯・沖郷・梨郷）地域住民の身近な相談窓口として、保健福祉サービスの調整や必要な制度へ繋ぐなど適切な支援に取り組んだ。高齢者の総合相談のワンストップサービスの拠点として、多様化する高齢者のニーズや複雑化する生活課題に対して、継続的・専門的な相談支援を提供し課題解決に取り組んだ。
- 地域の高齢者サロンや通所型サービスB（住民主体の通いの場）を訪問し、出張相談を行ったり健康講話や介護予防に関する啓発活動の他、認知症等に関する情報提供を行いながら、参加者や関係者と顔の見える関係づくりに努めた。

【相談件数（実数）】

| 内 容 | 件 数 |
|-----------------------|-------|
| 介護保険その他保健福祉サービスに関すること | 249 件 |
| 権利擁護（成年後見制度等）に関すること | 8 件 |
| 高齢者虐待に関すること | 2 件 |
| 合 計 | 259 件 |

(2) 権利擁護業務

- 成年後見制度の活用に関して、判断能力の低下がみられる認知症高齢者が適切な介護サービス利用や金銭管理、法律的行為を行うために、成年後見制度の活用についての情報提供をするなどの支援を行った。必要時には、成年後見制度（任意後見含）や福祉サービス利用援助事業の活用に関する繋ぎ支援を行った。
- 高齢者虐待防止・対応に関して、高齢者虐待を未然に防ぐ周知活動を行いながら虐待の通報や相談があった場合には速やかに関係機関と連絡を共有し事実確認と対応会議を行い継続的な支援を行った。今年度は2件、性的虐待と心理的虐待、経済的虐待とネグレクト（介護放棄）といった重複する虐待が疑われる困難な相談を受け対応を行った。
- 困難事例への対応に関して、支援困難事例に関する介護支援専門員への適切な指導、助言並びに居宅介護支援事業所等の介護支援専門員とのネットワーク強化に取り組んだ。

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- 包括的・継続的なサービスを切れ目なく提供することができるよう介護施設や医療機関等の関係機関との連携により支援のネットワークを構築するように取り組みを進めた。介護支援専門員が地域の社会資源を活用した支援ができるように、地域住民主

体の互助促進のため、地域での講話等を通じて啓発に取り組んだ。

- 介護支援専門員に対する支援として、居宅介護支援事業所からの困難事例の相談に対して、介護支援専門員の側面的な支援（指導、助言、情報提供、同行訪問、カンファレンスの開催など）を行った。また、自立支援に資するケアマネジメントが提供できるよう、自立支援型地域ケア会議を開催し様々な専門職からの助言を通して介護支援専門員のスキルアップの支援に努めた。

(4) 介護予防・介護予防ケアマネジメント／日常生活支援総合事業業務

- 要支援認定を受けた高齢者に対し、介護予防サービス計画を作成し介護サービスの利用支援を行った。その際、状態不安定で要介護状態へ重度化する可能性がある認定者に対しては継続的な支援を行うことを視野に居宅介護支援事業所へ委託を行った。
- 日常生活支援総合事業として「基本チェックリスト」を行った結果、将来的に要介護や要支援状態になる恐れがあると判断された高齢者に対して通所型サービスB（住民主体の通いの場）や、通所型サービスC（短期集中筋力アップや口腔機能向上）の利用に伴う介護予防ケアマネジメント支援を行った。また、一般高齢者向けの運動機能向上や認知症予防を目的とした一般介護予防事業の情報提供、利用支援も行った。

【介護予防支援件数】

| 自センター | 委 託 | 合 計 | 自センター割合 | 委託割合 |
|-------|-----|-------|---------|-------|
| 765 | 352 | 1,117 | 68.5% | 31.5% |

【介護予防ケアマネジメント件数】

| 自センター | 委 託 | 合 計 | 自センター割合 | 委託割合 |
|-------|-----|-----|---------|-------|
| 524 | 141 | 665 | 78.8% | 21.2% |

(5) その他の業務

- 地域からの要望により高齢者サロンや小学校「放課後子供教室」等で認知症サポート養成講座や出前講座として介護予防体操、介護保険等の講話を計264名に行った。
- 認知症の当事者やその家族に対する支援、地域住民への認知症の理解を深める目的で10月から毎月第4土曜日に認知症カフェを開催し6回の開催で計204名（1回平均34名）の参加者を迎える、認知症の参加者も老若男女一般の参加者も分け隔てなく交流を行うことができた。
- 4月から偶数月に当地域包括支援センターの広報誌を発行し、担当圏域の公民館や市役所などに設置し広く広報活動を行った。

【7】介護保険事業

1. 居宅介護支援事業

介護保険事業計画第6期の最終年度として介護保険のとりまく状況を鑑み、高齢者の自立支援と重度化防止の観点から、ご本人、ご家族に対して、状態の改善の可能性を目指し生活の問題や課題点の解決に向け、希望する生活に必要なサービス等利用できるようケアプランを作成した。介護支援専門員を常勤専従6名、そのうち主任介護支援専門員を1名配置し特定事業所として質の向上に努めた。また、地域包括支援センターと連携を図り、支援困難な多問題ケースへの対応や連絡調整の強化に努めるとともに、南陽市介護予防支援事業を受託し要介護状態に至らないよう自立支援プランを作成。要介護認定者数の増加に伴い、介護保険認定調査を南

陽市及び近隣市町から業務を受託し認定更新者の訪問調査を実施した。

医療介護連携の強化より医療機関や関係者とともに置賜入退院調整ルールをいち早く導入し情報共有を図った。(実績としては入院時連携 48 ケース 退院調整会議には 31 ケース)

人権擁護・高齢者虐待防止連絡会など各種関係機関の研修会を通してネットワークを深め、虐待防止の推進にも関わった。また、認知症高齢者の増加に伴い、住み慣れた地域で生活が継続できるよう認知症サポーターとして 3 名の有資格者が高齢者サロンや市が開催する市民公開講座や児童のびよっこ活動等に出向き「出前介護講座」にて周知した。

【介護支援専門員の業務内容】

- ケアマネジメント・・・相談援助、ケアプラン作成、課題分析、サービス事業者調整
- 要介護認定業務・・・介護保険認定調査(受託)
- 給付管理業務・・・給付実績管理、介護給付費請求事務
- 自立支援型地域ケア グループホーム運営会議 高齢者虐待防止連絡会
- 出前介護講座 認知症南陽市キャラバンメイト活動
- 介護支援専門員実務研修における科目「ケアマネジメントの基礎技術に関する実習」に協力の体制の確保

2. 訪問介護事業

利用者を取り巻く環境も高齢の一人暮らしや老老介護にみられる高齢者夫婦の増加、共働き世帯の増加による日中家族不在などの家族形態の急激な変化もあり訪問介護へのニーズも年々多様化、複雑化している状況だが、本人や家族とコミュニケーションを図りながら出来る限り希望にそういうに努めた。また利用者一人一人が生活の質を維持、向上することができるよう介護支援専門員や関係団体と連携を図り、適切な介護サービスの提供にも努めた。なかでも、近年、医療依存度の高い利用者や認知症高齢者が増加していることから、訪問看護、訪問リハビリなどの専門職との連携も図り、地域や日常生活の中で生きがいを持って安心安全に生活できるように支援をおこなってきた。要支援 1 や 2 の利用者には地域ケア会議による専門職による助言を受けて、自立に向けての支援、重度化防止にも取り組んできた。

スキルアップに関しても定例会時の情報共有や公的機関が主催する専門研修会を積極的に受講し介護技術や接遇、法令などの学習に努めヘルパーとしての資質の向上にも取り組んだ。

要支援 1, 2 の利用者等については平成 28 年 10 月から総合事業(みなし指定)として実施してきたが平成 30 年 4 月から総合事業に完全に移行することもあり、各種研修会や、勉強会を通して動向を注視し、円滑に移行できるよう準備を行った。

【訪問介護サービスの概要】

(1) 身体介護

- 入浴介助・・・入浴・洗髪・シャワーなどによる保清
- 清拭・・・入浴の困難な方には身体を拭く 衣類の交換・着衣の交換
- 食事介助・・・食事摂取の介助
- 排泄介助・・・排泄の介助や誘導、オムツ交換など

(2) 生活援助

- 調理・・・ご契約者分の食事作り 洗濯・・・ご契約者の衣類等の洗濯
- 掃除・・・ご契約者の居室の掃除
- 買い物・・・ご契約者の日常生活上、必要な物品の買い物

3. 通所介護事業

平成29年度5月より、利用定員を平日38名から40名（土曜日は20名から22名）に増員、平成28年度に二名の職員が認知症介護実践者研修を受講、認知症加算の算定と同じく5月から行うこととした。加算算定に伴い、介護士の定期的な検討会で、充実したレクリエーションや行事的活動等を企画、対象者に対しての介助方法等を学習し、認知症の進行の緩和に努め、安定的な利用者数の確保を図った。

また、利用者の健康状態・体調の変化に気を配り、各職種が情報を共有し、家族・ケアマネジャー・医療機関などへの情報提供を密に行することで状態・病状の進行・悪化を未然に防げるよう努めた。

そして、平成28年度10月から実施されていた、介護予防・日常生活支援総合事業（みなし）が平成30年度4月から完全移行となり、要支援者に対するサービス基準などが緩和されサービス内容や介護報酬が変更になることを踏まえ、職員全員で新しいサービスの内容の情報収集や学習会・検討会などを定期的に行い、新制度に対して柔軟に対応できる準備を行った。

【介護度別利用者数】

※平成30年3月31日現在

| 介護度 | 要支援1 | 要支援2 | 介護1 | 介護2 | 介護3 | 介護4 | 介護5 | 合計 |
|-----|------|------|-----|-----|-----|-----|-----|------|
| 人 数 | 13名 | 21名 | 32名 | 21名 | 13名 | 4名 | 2名 | 106名 |

【年齢別利用者数】

| 70歳～79歳 | 80歳～89歳 | 90歳～99歳 | 100歳～ | 平均年齢 |
|---------|---------|---------|-------|-------|
| 9名 | 56名 | 40名 | 1名 | 87.2歳 |

【利用者男女比】

| 男性 | 女性 |
|-----|-----|
| 26名 | 80名 |

【通所介護サービス及び総合事業（みなし）サービス提供内容】

- ◇ 日常生活の援助・・・排泄介助、移動介助、その他必要な身体介護
- ◇ 健康状態に確認・・・バイタルチェック、状態見守り、医療処置、緊急時の対応等
- ◇ 入浴の介助・・・洗身・洗髪の介助見守り、更衣の介助見守り
- ◇ 食事の介助・・・季節に添った食事の提供及び調理、食事摂取介助
- ◇ 機能回復訓練・・・レクリエーション、行事的活動、趣味活動、日常生活訓練
- ◇ 相談・助言・・・本人及び家族に対する日常生活の介護、看護の相談・助言

《平成29年度 福祉関係受賞者》

【山形県県民福祉大会会長表彰受賞者】

岩井 孝吉 様 (社会福祉事業協助・奉仕者)
ふれあいきいきサロン昼食の会 様 (社会福祉事業協助・奉仕者)
上 村 幸一 (本会職員) (一般社会福祉事業関係功労者)

【山形県共同募金会会長表彰受賞者】

学校法人南陽学園宮内認定こども園 様 (共同募金運動優良団体)

【南陽市社会福祉協議会会长表彰活動功労受賞者】

島貫区福祉ネットワーク 様 (地域福祉の模範)
島貫区ボランティア3S 様 (地域福祉の模範)
小川 雅子 様 (家庭福祉の模範)
金山若者グループ 様 (地域福祉の模範)
伊藤 鴨太郎 様 (地域福祉の模範)
安久津 敬一 様 (地域福祉の模範)
談笑サロン郡山 様 (地域福祉の模範)
坂井サロン会 様 (地域福祉の模範)

平成29年度南陽市社会福祉協議会関連会議等

| 開催年月日 | 事業・会議名 | 会場・開催場所 |
|-------------|---------------------|--------------|
| 平成29年 4月21日 | ボランティア友の会総会 | えくぼプラザ |
| 平成29年 4月27日 | 民生委員児童委員協議会総会 | 市役所 |
| 平成29年 5月17日 | 老人クラブ連合会総会 | えくぼプラザ |
| 平成29年 5月22日 | 置賜地区青少年教育推進会議 | 西置賜地域振興局 |
| 平成29年 6月 6日 | 群馬県榛東村社協視察研修会 | 南陽市健康長寿センター |
| 平成29年 7月13日 | 置賜二市二町社協連絡会 | 南陽市健康長寿センター |
| 平成29年 7月14日 | 県身体障がい者福祉大会実行委員会 | シェルターなんようホール |
| 平成29年 7月31日 | 置賜三市五町社協連絡会議 (~8/1) | 米沢市 河鹿荘 |
| 平成29年 8月30日 | 県老人福祉大会 | シェルターなんようホール |
| 平成29年 9月12日 | 宮城県涌谷町民児協視察研修会 | 南陽市健康長寿センター |
| 平成29年 9月19日 | 置賜ボランティアの輪連絡会議 | 高畠町老人福祉センター |
| 平成29年 9月26日 | 寒河江市社協視察研修会 | 南陽市健康長寿センター |
| 平成29年10月 3日 | 老ク連50周年記念式典祝賀会 | ハイジアパーク南陽 |
| 平成29年10月23日 | 置賜三市五町社協連絡会議 | 米沢市すこやかセンター |
| 平成29年11月13日 | 山形県・県民福祉大会 | 新庄市民文化会館 |
| 平成29年11月27日 | 置賜ボランティアの輪研修会 | 高畠町老人福祉センター |
| 平成29年12月12日 | 三市五町相談員生活支援員合同研修会 | 長井市老人福祉センター |
| 平成29年12月15日 | 置賜ボランティアの輪連絡会議 | 高畠町老人福祉センター |
| 平成30年 1月26日 | 置賜生活困窮者自立支援情報交換会 | 置賜総合支庁 |
| 平成30年 2月 6日 | 置賜地区青少年教育推進会議 | 西置賜地域振興局 |
| 平成30年 2月22日 | 生活困窮者自立支援相談機関研修会 | 西村山地域振興局 |
| 平成30年 3月 9日 | 南陽青年会議所・社協職員研修会 | えくぼプラザ |
| 平成30年 3月11日 | 東日本大震災祈念式典 | 米沢市伝国の杜 |